

第1号様式（第5条関係）

戸田市市民活動サポート補助金応募用紙（2っこり・10じつ）

（宛先）  
戸田市長

2019年4月19日

団体名 特定非営利活動法人ステップベース  
 代表者氏名 代表理事 大川 秀治  
 代表者住所 [REDACTED]  
 代表者連絡先 [REDACTED]

コース	2（に）っこりコース		10（じゅう）じつコース
事業名	すくすくすてっぷ 2019年度 サマーフェスティバル		
補助年数	1年目	2年目	3年目
実施期間	2019年4月1日～2019年7月31日		
事業総額	232,510円		
補助対象経費	232,510円		
補助金申請額	160,000円		
確定前交付の希望	希望する		希望しない
申請中又は交付予定の補助制度	名称	なし	
	実施主体		
連絡担当者	氏名	[REDACTED]	
	住所	[REDACTED]	
	電話	[REDACTED]	
	Fax	[REDACTED]	
	Email	[REDACTED]	

《団体の概要》

団体名	特定非営利活動法人ステップベース
ホームページ	<a href="https://www.sukusukustep.org/">https://www.sukusukustep.org/</a>
設立年月日	平成28年 5月 30日 設立
会員数	11人
年会費	0円/1年間
団体の目的	この法人は、放課後等において保育を必要とする小学生を対象にし、学童保育事業（放課後児童健全育成事業）および児童福祉法に基づく障害児通所支援事業を行うとともに、地域の子ども達の健やかな成長と豊かな地域社会づくりに寄与することを目的とする。
主な活動実績	<p>放課後等デイサービス すくすくすてっぷ  （住所 ██████████）  生徒数 16名（2019年3月末時点）</p> <p>2018年度サマーフェスティバル（昨年6月30日開催）  参加者数 117名  障がい児（通所者） 7名 保護者（通所者）12名  障がい児（通所者以外）4名 保護者（通所者以外）9名  軽度障がい児（外部） 6名 保護者（外部）保護者3名、  同世代児童13名、保護者8名  スタッフおよびゲスト15名、ボランティア6名、  近隣住民 18名、関連福祉団体関係者 11名  行政・議員 5名</p> <p>2018年度ウインターフェスティバル（昨年12月22日開催）  参加者数 55名  障がい児（通所者） 8名 保護者（通所者）11名  スタッフおよびゲスト 30名 近隣住民 3名  議員 1名 特別支援学校教諭 2名</p>
昨年度の補助金等の援助状況	2018年度サマーフェスティバルでは、戸田市市民活動サポート補助金を利用

団体PRなど	<p>当団体が運営する「すくすくすてっぷ」は、児童福祉法に基づく、障害を持つ子どものための放課後等デイサービスです。</p> <p>障害を持った子どもたちは決して特別な存在ではありません。嬉しいことに喜び、悲しいことに泣き、楽しいことに興味を持ちます。一人前の人間でありたいと願い、周囲の人間に認められる人間となるべく、色々なことにチャレンジします。</p> <p>彼らが当施設をとおして大きく成長できるよう、スタッフ一同、日々子どもたちと向き合って運営しています。</p>
--------	---

## 《事業計画書》

### 1 事業名

すくすくすてっぷ 2019年度 サマーフェスティバル

### 2 事業を実施する背景・きっかけ・動機

当団体の代表の子は生まれつき脳性麻痺のため肢体不自由です。その子が小学生になり、周りの子どもたちが元気に外で遊んでいる中で、その子は椅子に座ってテレビを見ていることしかできない状況でした。そんな中で同じように障害を持つ子どもたちに健常者の子どもと同じように音楽やスポーツ、工作を楽しめる環境を作りたい、健常者の子どもたちにも障害をもった子どもたちの存在を知り、一緒に遊ぶことで互いの理解を深める機会を作りたいと考え、本事業を計画するに至りました。

### 3 事業の目的

・障害をもった子どもたちが音楽、スポーツ、製作等の体験をとおして、自ら頑張った成果を人前で発表し、人に認められる喜びを感じる経験とすることを目的とする。

・近隣の小学校の児童と一緒にすることで、健常者の子どもや保護者が障害を持った子どものことを知る機会とし、また一緒に遊ぶ経験をすることで互いの理解を深めることを目的とする。

### 4 事業を実施することで予想される効果

・障害を持った子どもたちが、努力が報われる喜びを感じることで、周囲の人間に認められる人間となるべく、色々なことにチャレンジをする精神を養えるようになります。

・健常者の子どもや保護者が抱く、障害を持つ子どもに対する無知が原因で生まれる誤解や偏見を解消し、障害の有無に関係なく、子どもたちが健全に過ごし、成長できる地域社会を作り上げる一助となります。

## 5 具体的内容

<p><b>【事業概要】</b>          当団体の生徒である障害を持った子どもたちを出演者とする「夏の夜の夢」を題材としたステージの実施。近隣の児童もステージに参加。また、近隣の児童とともにパラリンピック競技にもなっている「ボッチャ」を実施。</p> <p><b>【実施日】</b>平成31年7月15日（月祝） 13時00分開会予定</p> <p><b>【実施場所】</b>心身障害者福祉センター（仮）</p> <p><b>【実施プログラム】</b>          13時00分～ 障がい児とみんなで作るステージ「なつの夜のユメ」          15時00分～ ボッチャ大会          15時30分 閉会</p> <p><b>【参加対象者】</b>          すくすくすてっぷ、近隣友好団体の生徒及びその保護者並びに小学生の子とその保護者を主とする近隣住民（参加者数目標150名）</p> <p><b>【講師】</b>「殺陣集団三点倒立」（役者）及び「トリオアベイユ」（音楽グループ）          ※上記講師には当日に至るまでの演技の指導及び当日の出演料として謝礼金を支払予定。</p>
---

## 6 事業実施のスケジュール

月日	内 容
1月5日	講師への出演依頼及び打ち合わせ
3月17日	講師決定
4月1日	衣装作成、ダンス・芝居の練習開始
4月20日	近隣への告知開始
5月1日	舞台セットの製作開始
5月21日	舞台・照明等業者との打ち合わせ
6月20日	リハーサル
7月15日	事業実施
7月31日	事業の開催結果の広報配布

## 7 事業の実施体制

【講師】三転倒立様及びトリオアベユ様

→当日に至るまでの児童への指導及び当日の出演

【近隣友好団体】

→参加者の動員協力及び当日の出し物の実施

- ・近隣の小学生と共にステージ発表をおこなう。
- ・また、友好団体もステージ発表をおこなう。

## 8 事業実施の際に予想される課題

【課題】児童の突発的な体調変化

→看護師を事業実施の間、常時待機させることで備えます。

## 9 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

本事業への参加者数150名を目標とする。

<動員目標内訳>

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| ・すくすくすてっぷ生徒及びその保護者 | 30名 |
| ・近隣友好団体の生徒及びその保護者  | 65名 |
| ・チラシ配布先からの参加者      | 55名 |

<チラシ配布先>

- ・戸田市内の相談支援事業所
- ・市内公共施設、町会・自治会への回覧、ポスター掲示
- ・広報戸田への掲載依頼
- ・戸田市内の小学校 など

## 10 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

より多くの方が参加して頂くことで、本事業の有用性、公益性を理解して頂き、寄付金や協賛金を募ることでの継続を目指します。

また、クラウドファンディングを利用し、寄付金を募ります。

《収支予算書》

【収入】

(円)

科目		予算額	内訳
補助金・助成金	市民活動サポート	¥160,000	
	その他		
自己資金		¥42,510	
会費			
利用者負担金			
協賛金・寄附		¥30,000	
その他			
合計		232,510	

【支出】

(円)

科目		予算額	内訳
補助対象経費	委託費	¥115,000	三点倒立様 10万円 トリオアベユ様 1万5000円
	消耗品費	¥32,400	衣装代 妖精役 1500円×16名 小道具代 プラスチックダンボール 900円×6 模造紙 500円×6
	印刷製本費	¥45,000	パンフレットデザイン費及び印刷代 4.5円×10000枚
	保険料	¥0	
	使用料	¥0	施設使用料
	通信費	¥1,230	切手代(チラシ郵送費) 82円×15
	備品	¥38,880	音響設備
	小計	232,510	内訳
補助対象外経費			
小計	0		
合計	232,510		

